

4月の活動報告

遊心さん+JVEC

◇「屋上菜園で親子一緒に野菜づくり&自然ふれあい教室」部会◇

4月に入り陽射しがぐっと強くなり、屋上に上がると汗ばむ日もあります。おかげで3月24日に植えたベビーリーフやジャガイモ、種を蒔いた小松菜やルッコラはすぐに新芽を出し4月7日には間引き、あれよあれよという間に成長し4月21日にはベビーリーフと小松菜を収穫しました。

子供たちは初めての収穫。親子で、巨大化したベビーリーフと種から1か月未満でしっかり成長した小松菜を袋いっぱい収穫。収穫は楽しいね。

そのあともう一度畝を整備して、スイカやナス、シシトウにゴーヤ、モロヘイヤの苗を植えて、ニンジンの種を蒔きました。ここからは毎日の水やりが大切。ゴールデンウィークも面倒を見なくては(汗)。苦労しても子供たちの歓声を楽しみ！

(伊藤)



収穫の様子



すくすく育った野菜

◇国産スーパーフード部会◇

グルテンフリーの食品

グリーンバナナフローラ(以下GBF)の関連で、グルテンフリーのパンや麺、その他食材の披露会に出席してきました。北米ではグルテンの影響によるアレルギーが100人に1人いると！スーパーやレストランにはグルテンフリーコーナーもあるようです。小麦の代わりに玄米の粉をペースト状にしてお料理しやすくした「玄米ペースト」は、もちろん国産無農薬の玄米です。スペイン人シェフの料理も試食して、違和感なし、美味しい！GBFを加えると小麦アレルギーフリーで腸内環境を整える食品が作れるのを確信しました。

(伊藤)



GF元氣堂試食

◇北千住ルミネ屋上菜園部会◇

イチゴとスナップエンドウ・収穫祭に向けて

今月は、イチゴのアブラムシ除去、スナップエンドウの一部収穫と追肥、小玉スイカを植える区画への土の追加などの作業を行いました。

スナップエンドウは数多くの莢をつけており、十分に成長したもから収穫していきます。同時に、引き続き花が咲くよう根元に肥料を施しました。またイチゴにアブラムシが発生してしまったため手作業での駆除を行いました。輪にしたガムテープを使い、イチゴを傷つけないよう慎重に取り除いていきます。一方、小玉スイカなどこれから植え付けを行う作物の区画では、深さが現在の10センチから15センチ程度になるよう土を追加しました。さらにバーク堆肥と油粕を加え、植物性肥料中心の害虫が発生しにくい土にしていきます。春になり様々な作業に追われる一方、徐々に収穫の喜びが感じられる季節になってきました。屋上一般開放されるGW中の5月4日にイチゴ、スナップエンドウなどの収穫祭、トマト、トウモロコシの苗の植え付け祭が、地元のお客様向けに開催されます。(藤掛)



イチゴの区画の様子



土を追加した区画

◇三井住友海上火災(株)屋上菜園部会◇

「メンテナンス契約」締結

4月12日に三井住友海上火災保険(株)の担当者と打ち合わせを持ちました。追加工事があり、工事完了は4月末になるとのことです。従いJVECとして作業開始は早くても5月中旬になります。屋上への積載荷重を増やしたくないとのことで、今後の栽培活動には肥料面で制約が出てくるのが予想されます。

(庭野・阿部)

☆「屋上菜園物語」もアップされています。

\\ JVECホームページは毎月更新されています。会員の皆様は是非ご覧ください。→<https://www.jvec.jp/>